

令和4年度 施策評価シート

基本目標		地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる
政策	220	区民が安全・快適・便利に暮らし、人々の交流が生まれ、移動しやすいまちをつくる
施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する
施策の目標	鉄道立体化による踏切事故防止や渋滞解消、また、道路のバリアフリー化等により、誰もが安全・安心で快適に暮らせる交通環境が整備されています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	道路のバリアフリー整備延長									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	10,290				13,080					14,630
実績	10,290				12,567					

指標名	「区内の交通環境に満足している」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	79.0				82.0					85.0
実績	79.0				82.1					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
道路のバリアフリー整備延長は、近年の道路景観整備工事等により増加している。 また、墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画に基づいた整備も進めており、整備延長の増加が見込まれる一方で、整備を進める特定道路を再検討するなど、計画の改定(次期の策定)が必要である。 東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)立体化事業、自転車駐輪場整備、公園等公衆トイレ整備事業など交通環境に関する様々な事業展開により、区民の交通環境への満足度も増加すると期待される。	R1	2,559,147
	R2	1,564,147
	R3	1,646,874

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	計画どおり事業は進んでいるが、目標以上の成果までは不明なため。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画に基づき、引き続き、区民、来街者が安全で快適に利用できる交通環境を確実に整備していく必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
他企業工事との工程調整や進捗管理などを徹底し、事業を進めていく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
				年度実績値	評価対象年度	
1	橋梁の架替・撤去事業費	97,388	12,314	109,702	82	現状維持
					82	令和3年度
2	橋梁長寿命化事業費	112,105	5,277	117,382	28	現状維持
					32.3	令和3年度
3	無電柱化整備事業費	18,647	7,916	26,563	82	現状維持
					82	令和3年度
4	公園便所改築事業費	20,846	12,314	33,160	48	現状維持
					41.5	令和3年度
5	道路バリアフリー整備事業費	140,489	7,916	148,405	82	改善・見直しのうえ継続
					82	令和3年度
6	北部地区幹線道路バリアフリー整備事業費	152,189	7,916	160,105	82	現状維持
					82	令和3年度
7	道路改良費(路面改修工事)	45,868	12,314	58,182	82	改善・見直しのうえ継続
					82	令和3年度
8	道路改良費(公共用地適正化)	41,957	12,314	54,271	82	現状維持
					82	令和3年度
9	錦糸町駅周辺自転車総合管理事業費	150,728	5,277	156,005	90	現状維持
					87	令和3年度
10	自転車駐車場等維持管理費	132,579	24,628	157,207	800	現状維持
					764	令和3年度
11	放置自転車対策費	78,032	14,953	92,985	500	現状維持
					388	令和3年度
12	道路維持事業費	435,325	17,738	453,063	28	現状維持
					32.3	令和3年度
13	橋梁維持費	1,114	7,916	9,030	28	現状維持
					32.3	令和3年度
14	交通安全施設維持管理費	104,502	5,277	109,779	28	現状維持
					32.3	令和3年度

15	公衆便所維持管理費	51,464	12,314	63,778	48	現状維持
					41.5	令和3年度
16	法定外公共物維持管理事業費	7,513	9,675	17,188	28	現状維持
					32.3	令和3年度
17	駐車場維持管理費	8,249	1,759	10,008	13,840	現状維持
					13,543	令和3年度
18	道路台帳整備費	11,440	8,796	20,236	10,000	現状維持
					11,837	令和3年度
19	公共用地境界確定事業費	1,068	33,424	34,492	2,000	現状維持
					1,339	令和3年度
20	法定外公共物・法定公共物移管事業費	803	29,905	30,708	5	現状維持
					15	令和3年度
21	交通安全普及啓発費	635	3,518	4,153	400	現状維持
					456	令和3年度
22	スクールゾーン育成事業費	488	3,518	4,006	10	現状維持
					7	令和3年度
23	交通安全協会補助金	7,050	1,759	8,809	400	現状維持
					456	令和3年度
24	自転車駐車場利用環境整備費	26,395	6,157	32,552	4	統合や縮小を検討
					1	令和3年度
25						
26						
27						
28						
29						
30						

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	橋梁の架替・撤去事業費		1
目的	墨田区橋梁長寿命化修繕計画に基づき、架設から耐用目標年数100年に近づく橋梁の計画的な架替・撤去道路整備を行う。		主管課・係(担当)
			道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者		
根拠法令 関連計画	道路法、墨田区橋梁長寿命化修繕計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤5
事業内容	<p>区が管理している25橋梁のうち、築80年以上経過したものが7橋(架替中の南辻橋除く)、築50～80年未満の橋梁も4橋あり、老朽化が進んでいる。</p> <p>平成22年度に墨田区橋梁長寿命化修繕計画を策定し、平成27年度と令和2年度に見直しを行った。</p> <p>この計画に基づき、架設から耐用目標年数100年に近づく橋梁について、計画的な架替・撤去道路整備を行う。</p>		
経過	開始年度	平成22年度	終了予定
	<p>橋梁点検及び橋梁長寿命化修繕計画</p> <p>[平成22年度] 橋梁長寿命化修繕計画の策定</p> <p>[平成26年度] 橋梁点検</p> <p>[平成27年度] 計画の見直し</p> <p>[令和元年度] 橋梁点検</p> <p>[令和2年度] 計画の見直し</p> <p>過去3年間の実績</p> <p>[平成30年度] 南辻橋上部工撤去工事</p> <p>[令和2年度] 南辻橋橋脚撤去工事、新辻橋概略設計</p> <p>[令和3年度] 南辻橋橋脚撤去工事、新辻橋基本設計</p>		
議会質問 の状況	<p>[平成30年4定] 豎川の橋梁は都道以外は架替えが進んでいないが、今後の架替えの順位は公表するべきである。</p> <p>[令和3年3月] 100年近く経過し、健全度が低い橋梁が多いため、計画的に架替えを進める必要がある。</p> <p>太鼓橋は渡りづらいため、改善するべきである。</p>		
その他 特記事項	特になし		

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		52,555	67,534	252,053	248,710	239,120	534,010
A.決算額(令和4年度は見込み)		50,931	66,007	0	93,597	97,388	534,010
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		50,931	66,007	0	93,597	97,388	534,010
執行率(%)		96.9%	97.7%	0.0%	37.6%	40.7%	100.0%
B.人コスト			31,084	9,087	7,058	12,314	
総事業決算額(A+B)		50,931	97,091	9,087	100,655	109,702	
予算書P(令和4年度)	P212 4-3	執行実績報告書P(令和3年度)		P155-3			

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費等	76	需用費	消耗品費等	85	需用費	消耗品費等	110
委託料	設計委託等	10,832	委託料	設計委託等	7,254	委託料	設計委託等	16,500
	南辻橋下水道局協定	82,169		南辻橋下水道局協定	89,721		南辻橋下水道局協定	180,000
工事請負費	維持補修	521	工事請負費	維持補修	330	工事請負費	架替工事等	236,000
							維持補修	1,400

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	架替えが完了した橋梁数(累計)				単位	橋
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2	R7	目標	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	0	0	1	1	2	2
	実績	0	0					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	事業の進捗を具体的に把握できるため、架替えが完了した橋梁数を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		85	R7	目標	79		80.5	
				実績	79		79	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	82		83.5		85	85
実績	82							
指標の選定理由及び目標値の理由								
橋梁の架替えによる歩道の拡幅やバリアフリー化により、交通環境に対する区民満足度の増加が見込まれる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	長寿命化修繕計画に基づき、事業を着実に進めていく。

課題・問題点
橋梁の健全度評価は経年で劣化していくことから計画どおりの架替等が必要であるが、多くの事業費と期間を要するため、後期基本計画に基づいて計画的に執行していく必要がある。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	橋梁長寿命化事業費				2
目的	墨田区橋梁長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い橋梁の予防保全型修繕を行う。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者				
根拠法令 関連計画	道路法、墨田区橋梁長寿命化修繕計画				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2
事業内容	<p>区が管理している25橋梁のうち、築80年以上経過したものが7橋(架替中の南辻橋除く)、築50～80年未満の橋梁も4橋あり、老朽化が進んでいる。 平成22年度に墨田区橋梁長寿命化修繕計画を策定し、平成27年度と令和2年度に見直しを行った。 この計画に基づき、築年数が浅いが健全度の低い橋梁について、予防保全的な補修整備を行う。</p>				
経過	開始年度	平成22年度		終了予定	-
	<p>橋梁点検及び橋梁長寿命化修繕計画 [平成22年度] 橋梁長寿命化修繕計画の策定 [平成26年度] 橋梁点検 [平成27年度] 計画の見直し [令和元年度] 橋梁点検 [令和2年度] 計画の見直し</p> <p>過去3年間の実績 [令和2年度] 平井橋補修工事 [令和3年度] 千歳橋補修工事</p>				
議会質問 の状況	[平成29年予特] 平井橋は江戸川区との境に架かる橋であるため、江戸川区との共同で実施するべきである。				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		158,500	0	135,000	150,378	120,000	24,000
A.決算額(令和4年度は見込み)		113,335	0	0	117,401	112,105	24,000
財源	国	26,125			18,500		
	都						
	その他				42,738		12,000
一般財源		87,210	0	0	56,163	112,105	12,000
執行率(%)		71.5%	0.0%	0.0%	78.1%	93.4%	100.0%
B.人コスト			0	0	4,411	5,277	
総事業決算額(A+B)		113,335	0	0	121,812	117,382	
予算書P(令和4年度)	P213 5-2	執行実績報告書P(令和3年度)			P156-2		

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	無電柱化整備事業費		3
目的	令和元年6月に策定した墨田区無電柱化整備計画に基づき、区道の無電柱化やバリアフリー化、景観整備を計画的・効率的に実施し、都市景観の向上に配慮した安全で快適な道路空間を整備する。		主管課・係(担当)
			道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者		
根拠法令 関連計画	道路法、無電柱化の推進に関する法律、電線共同溝の整備等に関する特別措置法、墨田区無電柱化基本方針、墨田区無電柱化整備計画		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤3、東京都道路整備保全公社
事業内容	墨田区では平成29年度に無電柱化基本方針、令和元年度に無電柱化整備計画を策定し、区内の無電柱化についての基本方針を定めるとともに、今後無電柱化整備を検討する無電柱化対象路線を選定した。今後、無電柱化対象路線の中から財政推計を考慮しながら、無電柱化整備を推進する。		
経過	開始年度	平成19年度	終了予定 令和8年度
	方針及び計画の策定 [平成29年度] 墨田区無電柱化基本方針の策定 [令和元年度] 墨田区無電柱化整備計画の策定 過去3年間の実績 [令和元年度] 墨29号路線(見番通り)測量委託 [令和2年度] 墨29号路線(見番通り)予備設計 [令和3年度] 墨29号路線(見番通り)詳細設計		
議会質問 の状況	[平成30年2定] 整備する路線の優先順位はどのように決めていくのか。区民が納得できる決める方法はどのように考えているか。 [平成31年1定] 無電柱化事業の財源の確保について [平成31年2定] 都市防災の機能の強化が最優先されるべき。木密地域を結ぶ路線を最優先で整備してほしい。 [令和3年11月] 地先の建替えの際に、地上機器の移設が必要となった場合、その移設費は地先の方の負担となるが、移設費は高額であり、地先の方が負担するのは困難である。そのため、地上機器を設置するには、十分な説明をするとともに書面による承諾を得るべきである。また、移設費を区が負担することはできないか。		
その他 特記事項	特になし		

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		3,020	10,020	1,947	27,610	18,910	22,110
A.決算額(令和4年度は見込み)		2,061	9,307	1,947	24,829	18,647	22,110
財源	国						
	都	2,041	9,176	1,947	18,000	4,573	5,300
	その他						
一般財源		20	131	0	6,829	14,074	16,810
執行率(%)		68.2%	92.9%	100.0%	89.9%	98.6%	100.0%
B.人コスト			26,643	6,789	7,058	7,916	
総事業決算額(A+B)		2,061	35,950	8,736	31,887	26,563	
予算書P(令和4年度)	P212 4-7	執行実績報告書P(令和3年度)			P156-7		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品	105	需用費	消耗品	75	需用費	消耗品	110
委託料	電線共同溝予備設計外	24,724	委託料	電線共同溝詳細設計外	18,573	委託料	電線共同溝修正設計外	22,000

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	本事業における電線類の地中化整備延長				単位	m
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		230	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標					230	230
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	令和元年度に策定した無電柱化整備計画の整備延長を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		85	R7	目標	79		80.5	
				実績	79		79	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	82		83.5		85	85
	実績	82						
指標の選定理由及び目標値の理由								
無電柱化整備及び道路のバリアフリー化を行うことにより、道路環境の改善が図られ、区内の交通環境に対する区民満足度も上昇すると考えられる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	国・都からの補助金を十分に確保し、無電柱化対象路線の優先順位を定めて整備していく。

課題・問題点
<p>電線共同溝整備は、多くの事業費や長期間の道路使用制限を強いられるため、管路の浅層埋設などの低コスト手法導入の検討や活用などにより、事業費削減を行う必要がある。</p> <p>国や都も無電柱化を推進していることから、区市町村向けの無電柱化に係る財政的・技術的支援を積極的に受けていく必要がある。</p> <p>地上機器を移設する場合、地先の方が高額な費用を負担することになるため、設置位置を十分検討するとともに、地先の方に丁寧に説明し、承諾を得ていく必要がある。</p>

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	公園便所改築事業費				4
目的	老朽化したトイレの改築を行うとともに、「だれでもトイレ」を設置するほか、地域性を考慮し、震災対応型トイレの設置も積極的に検討する。 また、だれもが安心・安全・快適に利用できるまち歩きトイレを整備することにより、区民や観光客が快適なまち歩き観光を楽しめるようにする。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者				
根拠法令 関連計画	都市公園法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の推進に関する法律 墨田区立公園条例、墨田区公衆便所に関する条例、東京都福祉のまちづくり条例				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5
事業内容	公園等公衆トイレについては、トイレの改築方針を策定し、適正なトイレの配置や改築順序等を取りまとめ、トイレの集約を含む効果的・効率的なトイレの改築を推進する。 一方、トイレの洋式化について、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、外国人観光客の増加が想定されたことから、ブース内の改修工事に対応できるトイレは、令和元年度までに完了した。				
経過	開始年度				終了予定
	過去3年間の実績 [平成30年度] 改築 八広第一児童遊園 洋式化 ささのは児童遊園 1か所(2基) [令和元年度] 洋式化 中和公園(2基)、横川さんかく公園(2基) [令和2年度] 改築 若宮公園、とちのき児童遊園、隅田第二児童遊園 [令和3年度] 改築 東墨田東公園				
議会質問の状況	[令和元年11月] 公園・公衆トイレの適正配置について考える時期ではないか。 [令和3年3月] 立花周辺の公衆トイレについて、古くてあまりきれいでなく、外で働く宅配業者の方は利用しづらい。 [令和3年6月] 区の中で他の所管施設と横断的に連携して、公衆トイレの整備を考えた方が良い。 [令和3年12月] 撤去するトイレは決まっているのか。コンビニトイレを使えるようにしてはどうか。トイレ撤去を先行して進めてはどうか。				
その他特記事項	トイレの集約を検討する場合は、利用実態調査を行い、地元町会の意見等も踏まえて判断する。				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		47,700	16,600	6,000	52,747	20,932	63,000
A.決算額(令和4年度は見込み)		45,020	15,885	4,510	52,547	20,846	63,000
財源	国	3,000					
	都	7,950	4,639	1,908			
	その他						
一般財源		34,070	11,246	2,602	52,547	20,846	63,000
執行率(%)		94.4%	95.7%	75.2%	99.6%	99.6%	100.0%
B.人コスト			44,405	11,316	12,351	12,314	
総事業決算額(A+B)		45,020	60,290	15,826	64,898	33,160	
予算書P(令和4年度)	P218 1-4	執行実績報告書P(令和3年度)			P160-3		

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	道路バリアフリー整備事業費				5
目的	「墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画」に基づき、道路のバリアフリー化を行うことにより、安全で快適に移動できる歩道環境を整備する。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者				
根拠法令 関連計画	道路法、東京都福祉のまちづくり条例、墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3
事業内容	<p>平成27年度に策定した「墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画」に基づき、優先整備地区である「とうきょうスカイツリー・押上・本所吾妻橋駅周辺地区」において道路のバリアフリー化を行うことにより、東京スカイツリー周辺を訪れる高齢者や障害者を含む全ての歩行者が、安全で快適に移動できる歩道環境を整備する。</p> <p>また、歩道の整備に合わせて老木化・大木化した街路樹の花の咲く木への植替えも行い、通行者や沿道住民に潤いと安らぎを与えるような道路空間整備を図る。</p> <p>なお、墨111号路線については、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴う主要観光施設周辺の重点区間として、大会開催までに整備を完了した。</p> <p>小梅通りについては、下水道管再構築工事が令和元年度に完了予定のため、令和元年度に設計委託を行い、下水道局の受託事業費を活用して令和2年度から3箇年で整備工事を実施する。</p>				
経過	開始年度	平成27年度			終了予定
	<p>過去3年間の実績</p> <p>[令和元年度] 墨111号路線(浅草通り～春日通り) 延長500m 墨26号路線(小梅通り)測量及び設計委託(言問通り～墨113号路線交差点) 延長750m</p> <p>[令和2年度] 墨26号路線(小梅通り)整備工事(向島4-27～向島4-16) 延長242m</p> <p>[令和3年度] 墨26号路線(小梅通り)整備工事(向島3-36～向島4-28) 延長246m</p>				
議会質問 の状況	[平成31年1定] 交通バリアフリー道路特定事業計画において、曳舟駅周辺地区に続く重点整備地区についてはどのような方針か。				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		1,052	19,380	266,340	145,700	144,654	161,000
A.決算額(令和4年度は見込み)		10,280	18,380	258,312	142,857	140,489	161,000
財源	国			41,000			
	都	9,955		20,500	42,300	36,921	36,000
	その他						
一般財源		325	18,380	196,812	100,557	103,568	125,000
執行率(%)		977.2%	94.8%	97.0%	98.0%	97.1%	100.0%
B.人コスト			26,643	6,789	7,058	7,916	
総事業決算額(A+B)		10,280	45,023	265,101	149,915	148,405	
予算書P(令和4年度)	P212 4-6	執行実績報告書P(令和3年度)			P156-6の一部		

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	北部地区幹線道路バリアフリー整備事業費				6
目的	墨田区北部地区の主要な幹線道路において、安全で快適に移動できる歩道環境を整備する。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者				
根拠法令 関連計画	道路法、東京都福祉のまちづくり条例				
実施基準	都基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3
事業内容	<p>墨田区北部地区の交通網において主要な幹線道路である墨119号路線(曳舟川通り)と墨122号路線(中居堀通り)について、道路のバリアフリー化を図ることにより高齢者や障害者を含む全ての歩行者が、安全で快適に移動できる歩道環境を整備する。</p> <p>さらに、歩道の整備に合わせて老木化・大木化した街路樹の花の咲く木への植替えも行い、通行者や沿道住民に潤いと安らぎを与えるような道路空間整備を図る。</p>				
経過	開始年度	平成29年度		終了予定	令和6年度
	<p>過去3年間の実績</p> <p>[令和元年度] 墨119号路線(曳舟川通り)整備工事(東向島6 11~八広5 2) 延長 200m</p> <p>[令和2年度] 墨119号路線(曳舟川通り)設計委託(東向島6-9~八広1 7) 延長 216m</p> <p>[令和3年度] 墨119号路線(曳舟川通り)整備工事(東向島6-9~八広1 7) 延長 216m</p> <p>墨119号路線(曳舟川通り)設計委託(東向島2 30~京島1-42) 延長 310m</p>				
議会質問 の状況	特になし				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		17,620	213,170	136,200	7,425	152,189	113,750
A.決算額(令和4年度は見込み)		17,138	213,169	120,096	7,425	152,189	113,750
財源	国						
	都		56,859	33,595		33,114	25,200
	その他						
一般財源		17,138	156,310	86,501	7,425	119,075	88,550
執行率(%)		97.3%	100.0%	88.2%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト			26,643	4,526	4,411	7,916	
総事業決算額(A+B)		17,138	239,812	124,622	11,836	160,105	
予算書P(令和4年度)	P212 4-6	執行実績報告書P(令和3年度)			P156-6の一部		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	119号路線設計委託	7,425	委託料	119号路線設計委託	10,450	委託料	119号路線設計委託	8,750
			工事請負費	119号路線整備工事	141,739	工事請負費	119号路線整備工事	105,000

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	北部地区幹線道路バリアフリー整備延長(累計)				単位	m
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		1,735	R5	目標	0	0	595	795
				実績	0	0	595	795
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	795	1,065	1,415	1,735		
	実績	795	1,011					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	事業の進捗が把握できるバリアフリー整備延長を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		83.5	R5	目標	79		80.5	
				実績	79		79	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	82		83.5		85	
実績	82							
指標の選定理由及び目標値の理由								
歩道の有効幅員の確保、段差の解消といった道路改善を行い、歩道のバリアフリー化を図ることにより、区内の交通環境に満足する区民も増加する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	墨119号路線(曳舟川通り)は、水道局が本管更新工事を行うことから、復旧舗装工事を区が受託するなど全体工期短縮やコスト削減を図りながら整備を進めていく。

課題・問題点
今後も北部地区におけるバリアフリー化を進捗させるためには、他の路線でも占用企業者工事に合わせて整備を行い、コストの削減を図る必要がある。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	道路改良費(路面改修工事)				7
目的	区内道路を、歩車道とも一定水準の管理状態に保ち、通行者及び通行車両の安全を確保するため、道路法施行令35条の2第1項第2号の規定による5年に1度の路面性状調査の結果を基に、損傷した道路を順次改修する。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	歩行者、自動車				
根拠法令 関連計画	道路法				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5
事業内容	区が管理する道路254kmを一定水準に管理するために、計画的に改修する。 令和2年度に実施した路面性状調査結果を基に、路面改修事業計画の見直しを行い、損傷度の高い路線を改修する。				
経過	開始年度	昭和28年度		終了予定	
	路面性状調査及び路面改修事業計画 [平成28年度] 計画の見直し [令和2年度] 路面性状調査、計画の見直し 過去3年間の実績 [令和元年度] 路面改修面積:2,580㎡ 延長:235m [令和2年度] 路面改修面積:2,594㎡ 延長:277m [令和3年度] 路面改修面積:1,641㎡ 延長:347m				
議会質問 の状況	[平成31年2月] 路面改修は、傷んでいる箇所から順に進めていくべきだ。				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		41,880	49,883	123,300	95,000	47,527	149,875
A.決算額(令和4年度は見込み)		41,880	47,633	100,130	92,315	45,868	149,875
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		41,880	47,633	100,130	92,315	45,868	149,875
執行率(%)		100.0%	95.5%	81.2%	97.2%	96.5%	100.0%
B.人コスト			35,524	15,842	11,469	12,314	
総事業決算額(A+B)		41,880	83,157	115,972	103,784	58,182	
予算書P(令和4年度)	P211 4-1	執行実績報告書P(令和3年度)			P155-1の一部		

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	道路改良費(公共用地適正化)				8
目的	河川周辺の公共用地(道路用地等)における不法占用物件の除去等にあわせて、適正な管理形態(歩道、緑地等)へ整備する。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	道路や河川の不法占用を行っている沿道区民				
根拠法令 関連計画	道路法、河川法				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5
事業内容	<p>荒川(八広地区)や旧中川周辺の法面等公共用地(道路用地や河川用地)において、無許可で出入口を設けた建物が存在している。 敷地が法面等にしか接していない宅地は、建築基準法の接道要件を満たさないため、建替え等に当たり、土地所有者から道路整備の相談がある。 区に相談があった場合は、土地所有者が不法占拠物件を除去し、適正な道路管理へとつなげる好機でもあり、確実に歩道や緑地等の整備を進め、適正な管理形態にしていく。(ただし、開発行為や区の条例等の対象となるマンション建築などの場合は、本事業の対象外とする。)</p>				
経過	開始年度	平成29年度		終了予定	
	<p>過去3年間の実績 [令和元年度] 測量及び設計 実績3件 工 事 実績2件 [令和2年度] 測量及び設計 実績1件 工 事 実績1件 [令和3年度] 測量及び設計 実績1件 工 事 実績1件</p>				
議会質問の状況	特になし				
その他特記事項	該当公共用地の隣接敷地の建築計画と調整を図り、整備を行う必要がある。				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		3,000	38,000	58,600	21,220	45,969	97,500
A.決算額(令和4年度は見込み)		696	32,685	40,428	21,168	41,957	97,500
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		696	32,685	40,428	21,168	41,957	97,500
執行率(%)		23.2%	86.0%	69.0%	99.8%	91.3%	100.0%
B.人コスト			26,643	6,789	12,351	12,314	
総事業決算額(A+B)		696	59,328	47,217	33,519	54,271	
予算書P(令和4年度)	P211 4-1	執行実績報告書P(令和3年度)			P155-1の一部		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	墨12号路線設計	13,420	委託料	墨112号路線設計等	13,284	委託料	墨120号路線家屋調査	500
工事請負費		7,748	工事請負費	墨120号路線整備	28,673	工事請負費	墨120号路線整備等	97,000

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	整備件数(累計)				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		11	R7	目標		1	4	5
				実績		0	1	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	6	7	8	9	10	11
	実績	4	5					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	沿道区民から相談があり、交渉成立した場合に整備を行うため、過去の経験から目標値を設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		85	R7	目標	79		80.5	
				実績	79		79	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	82		83.5		85	85
実績	82							
指標の選定理由及び目標値の理由								
不法占拠物件が撤去された後に歩道整備等を行うことにより、区内の交通環境に満足する区民も増加する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	大幅な進捗は困難であるが、区民からの相談を継続的に実施することにより適正な管理形態に整備していく。

課題・問題点
建築計画が発生した際に実施することになり、建築計画の遅れにより実施年度に変更が生じる。事業の必要性は極めて高く、建築事業者等との調整を密に図り事業の進捗を図っていく。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位		
事業名	錦糸町駅周辺自転車総合管理事業費		9		
目的	錦糸町駅周辺に放置自転車がなく安心して通行できる。 自転車駐車が適正に管理されて利用者が気持ちよく利用できる。		主管課・係(担当)		
			土木管理課交通安全担当		
			03-5608-6203		
対象者	自転車利用者				
根拠法令 関連計画	墨田区自転車の利用秩序及び自転車駐車の整備に関する条例 墨田区自転車利用総合方針				
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤4、委託先:芝園開発株式会社
事業内容	自転車駐車場管理業務(自転車駐車場の運営業務) 駅周辺自転車整理業務 (放置自転車に警告札の貼付等の業務) 放置自転車撤去業務 (撤去自転車の積み込み、保管所への運搬等の業務) 撤去自転車返還業務 (放置自転車の返還やデータ入力等の業務)				
経過	開始年度	平成29年度		終了予定	なし
	平成29年4月から民間事業者に錦糸町駅周辺の自転車駐車場の運営管理、放置自転車対策を委託 放置自転車台数が437台から214台に減少し、これにより錦糸町駅は、放置自転車が多い駅ワースト3位から30位になった、その後継続的に放置自転車台数が減少し令和3年度は87台(ワースト71位)になっている。 令和元年度 118台 61位 令和2年度 95台 66位 令和3年度 87台 71位				
議会質問の状況	[平成29年4定] 元シルバー人材センター会員の雇用に関すること [令和2年3月] 高齢者の雇用について				
その他特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		130,140	133,322	136,300	151,265	150,728	155,250
A.決算額(令和4年度は見込み)		130,140	133,322	136,300	151,265	150,728	155,250
財源	国						
	都						
	その他			19,785	78,303	72,825	72,825
一般財源		130,140	133,322	116,515	72,962	77,903	82,425
執行率(%)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト			3,937	3,495	6,175	5,277	
総事業決算額(A+B)		130,140	137,259	139,795	157,440	156,005	
予算書P(令和4年度)	P214 6-7	執行実績報告書P(令和3年度)			p157-7		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	錦糸町駅周辺自転車総合管理	151,265	委託料	錦糸町駅周辺自転車総合管理	150,728	委託料	錦糸町駅周辺自転車総合管理	155,250

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	錦糸町駅周辺の放置自転車撤去台数				単位	台/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3,000	R7	目標	8,000	7,000	6,000	5,000
				実績	8,775	8,164	7,691	6,430
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	実績	5,315	5,460					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	放置自転車を警告撤去することで放置自転車を削減できる。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	錦糸町駅周辺の放置自転車台数				単位	台
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		50	R7	目標	400	300	200	150
				実績	437	214	146	118
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	100	90	80	70	60	50
実績	95	87						
指標の選定理由及び目標値の理由								
錦糸町駅周辺の放置自転車の状況が確認できる指標であるため								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	自転車駐車場管理及び放置自転車の警告、撤去、保管、返還を一括で実施することにより、放置自転車台数は毎年減少している。引き続き、最終目標値である50台を達成するため、今後も警告撤去に努めていく。

課題・問題点
今年度プロポーザル方式で次期契約者を選定するため、次期事業者との引継ぎを円滑に進める必要がある。高齢者の雇用確保と業務の効率化のバランスを取ることが課題である。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	自転車駐車場等維持管理費				10
目的	区が管理する自転車駐車場及び自転車保管所の適正な管理運営が行われている。				主管課・係(担当)
					土木管理課交通安全担当
					03-5608-6203
対象者	自転車利用者				
根拠法令	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律				
関連計画	墨田区自転車の利用秩序及び自転車駐車場の整備に関する条例				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤7・会計年度任用制度職員2、委託先:墨田区シルバー人材センター
	事業内容				
「墨田区自転車の利用秩序及び自転車駐車場の整備に関する条例」に基づき、第1種、第2種及び第3種特定自転車駐車場を通勤・通学等のために利用できる駅周辺の自転車駐車場として適正に管理運営する。					
経過	開始年度	平成25年度		終了予定	なし
	平成25年度 放置自転車に関する業務と、自転車駐車場等の管理運営に関する業務を分割。 平成29年度 錦糸町駅周辺(北口・南口・牡丹橋・第3種・保管所)の管理運営に係る事業を駅周辺一括管理事業として分割。(機器借上・保守、施設の設備点検保守等は本予算にて計上) 平成30年度 錦糸町駅南口に機械式自転車駐車場を設置(令和元年供用開始) 令和3年度 機械式地下自転車駐車場整備事業を統合				
議会質問の状況	[令和元年10月] 押上駅前自転車駐車場のラックの故障について [令和2年10月] 新大橋通りの白線が見にくい [令和3年11月] 錦糸町駅北口アルカキット周辺の自転車駐車場について [令和4年3月] 第2種駐車場の料金設定の変更及び第3種駐車場の優先的な使用について				
その他特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		104,652	118,609	125,510	121,577	136,972	249,623
A.決算額(令和4年度は見込み)		100,797	115,432	120,476	113,574	132,579	249,623
財源	国						
	都						
	その他	100,797	115,432	120,476	113,574	132,579	151,036
一般財源		0	0	0	0	0	98,587
執行率(%)		96.3%	97.3%	96.0%	93.4%	96.8%	100.0%
B.人コスト			12,797	11,359	16,762	24,628	
総事業決算額(A+B)		100,797	128,229	131,835	130,336	157,207	
予算書P(令和4年度)	P214 6-5	執行実績報告書P(令和3年度)			p157-5の一部		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬	臨時職員給与	1,229	需用費	光熱水費、消耗品等	16,808	需用費	光熱水費、消耗品等	18,213
需用費	光熱水費、消耗品等	16,627	役務費	通信料等	4,081	役務費	通信料等	7,744
役務費	通信料等	4,546	委託料	押上駅前自転車駐車場管理委託等	49,013	委託料	押上駅前自転車駐車場管理委託等	82,618
委託料	押上駅前自転車駐車場管理委託	44,093	使用料及び賃借料	錦糸町北口地下LED借上等	57,222	使用料及び賃借料	錦糸町北口地下ベルトコンベア借上等	59,380
使用料及び賃借料	防災監視盤借上	42,580	工事請負費	各施設改修工事	5,006	工事請負費	錦糸町各地下計画修繕等	81,068
工事請負費	各施設改修工事	4,045	負担金補助及び交付金		449	負担金補助及び交付金		600
負担金補助及び交付金		454						

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	自転車駐車場の収容台数				単位	台/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		11,400	R7	目標	10,728	10,728	11,400	11,400
				実績	10,728	10,999	11,247	11,184
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	11,400	11,400	11,400	11,400	11,400	11,400
	実績	11,154	10,997					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	自転車駐車場の収容台数を増やすことで区民ニーズに応える。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	自転車駐車場申請者キャンセル待ち数(第1種及び第2種の定期利用)				単位	
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
200		R7	目標	制度なし	2,152	2,000	1,500	
			実績	制度なし	1,882	1,431	1,458	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		1,000	800	600	400	300	200	
実績	1,111	764						
指標の選定理由及び目標値の理由								
キャンセル待ちの区民が多いとニーズに応えていないことになる。(キャンセル待ち数を減らしていくことでニーズに応える。) 区が設置する収容台数は増加させない(減少する可能性もある)が、駅周辺全体の自転車駐車場の管理(数値化困難)を適正に行うことで、キャンセル待ちを減少させていく。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	駅周辺の区営自転車駐車場が確保されることで、通勤・通学等の利用者への利便性及び放置自転車の減少に寄与しているため、自転車駐車場及び自転車保管所の適正な管理運営を継続していく必要がある。

課題・問題点
キャンセル待ちの多い自転車駐車場がある一方で、立地条件等により利用者数が少ない自転車駐車場もあることから、自転車駐車場の位置やキャンセル待ち数で利用料の差をつける料金形態の導入が可能か検討する。 区営自転車駐車場については、利用者の利便性の向上を図りつつ運営を効率化することが課題となっていることから、民間活力(民営化や民間委託化の検討)やIoTの導入により、更なる業務の改善を目指す。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位	
事業名	放置自転車対策費		11	
目的	駅周辺等の放置自転車による生活環境の悪化を防止し、安全で快適なまちとなっている。		主管課・係(担当)	
			土木管理課交通安全担当	
			03-5608-6203	
対象者	自転車利用者			
根拠法令 関連計画	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律 墨田区自転車の利用秩序及び自転車駐車場の整備に関する条例			
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤4・会計年度任用制度職員2、委託先:墨田区シルバー人材センター	
事業内容	<p>啓発キャンペーンの実施 自転車整理員による日常的な周知活動や呼びかけの他、毎年都内で行われる「駅前放置自転車追放キャンペーン」や、放置状況が顕著な駅周辺で個別に行うキャンペーンを通して、指導・啓発を行っている。</p> <p>放置自転車の撤去 森下駅を含む計14駅の周辺に自転車放置禁止区域を定め、即時撤去を実施している。 撤去後は保管所へ移送・保管し、返還業務を行う。撤去の公示は、所有者への通知又は告示により行い、保管期間経過後も引取りのない撤去自転車については、自転車の状態に応じてリサイクル、海外供与、売却、廃棄といった処分を行っている。</p>			
経過	開始年度	昭和60年度	終了予定	なし
	<p>平成29年度から平成30年度にかけて撤去手数料を段階的に改定した。(2千円から5千円に改定) 平成29年9月1日放置禁止区域拡大(京成曳舟駅側道) 令和4年4月1日放置禁止区域拡大(両国駅周辺、本所吾妻橋駅・とうきょうスカイツリー駅・押上駅周辺、錦糸町駅周辺)</p>			
議会質問 の状況	<p>[平成30年決特] 放置自転車の状況について ほか [令和元年10月] ライフセントラルスクエア押上駅前店前の放置自転車について [令和2年2月] 撤去自転車の海外供与状況の周知について</p>			
その他 特記事項	放置自転車に関するキャンペーン 春・秋実施			

予算・決算額推移(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)	74,915	75,880	75,891	76,081	81,190	76,487
A.決算額(令和4年度は見込み)	72,860	71,559	74,017	73,506	78,032	76,487
財源	国					
	都					
	その他	20,400	36,150	39,125	49,252	39,914
一般財源	52,460	35,409	34,892	24,254	38,118	39,139
執行率(%)	97.3%	94.3%	97.5%	96.6%	96.1%	100.0%
B.人コスト		12,351	10,486	12,351	14,953	
総事業決算額(A+B)	72,860	83,910	84,503	85,857	92,985	
予算書P(令和4年度)	P213 6-4		執行実績報告書P(令和3年度)		p157-4	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品費等	611	需用費	消耗品費等	902	需用費	消耗品費等	1,902
役務費	郵便料金等	425	役務費	郵便料金等	242	役務費	郵便料金等	427
委託料	駅周辺自転車総合管理業務委託等	62,485	委託料	駅周辺自転車総合管理業務委託等	65,116	委託料	駅周辺自転車総合管理業務委託等	65,315
使用料及び賃借料	放置自転車等撤去車両の借上等	9,964	使用料及び賃借料	放置自転車等撤去車両の借上等	9,261	使用料及び賃借料	放置自転車等撤去車両の借上等	8,833
負担金補助及び交付金	全自連会費	20	工事請負費	各種工事	2,492	負担金補助及び交付金	全自連会費	10
			負担金補助及び交付金	全自連会費	20			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	放置自転車撤去台数(錦糸町駅周辺を除く)				単位	台/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3,600	R7	目標	4,500	4,400	4,300	4,200
				実績	4,380	3,958	4,241	4,022
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4,100	4,000	3,900	3,800	3,700	3,600
	実績	2,904	2,586					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	自転車撤去台数が明確な指標となる。 自転車撤去作業により放置禁止の周知が進み撤去台数が減少する。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区内全駅の放置自転車台数(錦糸町駅周辺を除く)				単位	台
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
300		R7	目標	1,200	1,060	920	780	
			実績	865	715	751	420	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		640	500	400	350	330	300	
実績	412	388						
指標の選定理由及び目標値の理由								
錦糸町駅を除く区内全駅の放置自転車台数の推移によって、効果が確認できる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	駅周辺の放置自転車の撤去や啓発の実施により、区内全駅の放置自転車台数は減少しており、駅周辺における安全で快適な環境を今後も維持していく必要がある。

課題・問題点
放置自転車に関する警告、撤去、保管、返還の一連業務は多数の人員が必要だが、放置自転車を減少させつつ経費を削減することが課題であり、業務の効率化にはIoT機器の導入や民託化の導入を検討する必要がある。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する				部内優先順位
事業名	道路維持事業費				12	
目的	区道の歩行者等が安全・快適に通行できる状態を継続的に維持する。				主管課・係(担当)	
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661	
対象者	区民、来街者					
根拠法令 関連計画	道路法					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤6、会計年度任用職員2	
事業内容	区道において、維持補修工事、清掃、不法投棄処理等を適時、適切に実施する。					
経過	開始年度	昭和28年度			終了予定	-
	過去3年間の実績 【道路維持工事件数】 [令和元年度] 208件 舗装面積2,313㎡ L形改修937m (区道延長254,138m) [令和2年度] 193件 舗装面積2,336㎡ L形改修893m (区道延長254,138m) [令和3年度] 164件 舗装面積2,562㎡ L形改修913m (区道延長254,195m)					
議会質問 の状況	特になし					
その他 特記事項	特になし					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		396,210	372,764	414,278	417,308	448,352	384,615
A.決算額(令和4年度は見込み)		386,667	363,887	404,584	411,899	435,325	384,615
財源	国	14,575	1,750	9,300	6,680		
	都						
	その他						
一般財源		372,092	362,137	395,284	405,219	435,325	384,615
執行率(%)		97.6%	97.6%	97.7%	98.7%	97.1%	100.0%
B.人コスト			26,643	13,579	14,144	17,738	
総事業決算額(A+B)		386,667	390,530	418,163	426,043	453,063	
予算書P(令和4年度)	P210 2-1	執行実績報告書P(令和3年度)			P154-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報酬		1,148	報酬		1,117	報酬		1,148
職員手当等		222	職員手当等		230	職員手当等		230
需用費		1,127	需用費		1,187	需用費		1,247
	(光熱水費)	548		(光熱水費)	609		(光熱水費)	664
	(一般需用費)	579		(一般需用費)	578		(一般需用費)	583
役務費	清掃、廃棄物運搬外	121,074	役務費	清掃、廃棄物運搬外	120,016	役務費	清掃、廃棄物運搬外	124,993
委託料	廃棄物処分、調査委託外	62,416	委託料	廃棄物処分、調査委託外	29,072	委託料	廃棄物処分、調査委託外	11,000
使用料及び賃借料		6,714	使用料及び賃借料		6,945	使用料及び賃借料		7,177
工事請負費	維持補修	216,815	工事請負費	カルバート補修 その他維持補修	275,744	工事請負費	維持補修	237,802
原材料費		1,017	原材料費		1,017	原材料費		1,017
						補償補填及び賠償金		1

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	道路維持補修件数				単 位	件/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		200	R7	目標	200	200	200	200
				実績	216	245	219	208
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	200	200	200	200	200	200
	実績	193	164					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	道路の機能を維持するために施工する維持補修件数を活動指標とした。 目標値は、本区の道路機能を一定水準に保つために必要とする維持補修件数を近年の実績から200件とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	「交通の安全性に満足している」区民の割合				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
30		R7	目標	26		27		
			実績	26.9		29.6		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		28		29		30	30	
実績	32.3							
指標の選定理由及び目標値の理由								
道路維持事業で、安全、快適に通行できる状態を確保することが、交通の安全性に満足している区民割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	地域住民だけでなく多くの来街者に対し、安全で快適な道路利用環境を提供していく。 緊急性の高い補修工事を優先して施工するとともに、路面改修工事や企業工事等の他事業と連携し、効率的かつ計画的に補修を行っていく必要がある。

課題・問題点
時間の経過とともに施設の老朽化が進み、あわせて近年工事費が増加傾向にある。 路線ごとに行う路面改修工事や企業工事などと連携し、効率的かつ計画的な補修を行っていく必要がある。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	橋梁維持費				13
目的	区が管理する25橋梁の維持管理において、緊急に簡易補修が必要な場合に対応する。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者				
根拠法令 関連計画	道路法				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3
事業内容	区管理の橋梁において、緊急に簡易補修が必要な場合に対応する事業である。				
経過	開始年度	昭和28年度		終了予定	
	過去3年間の実績 [令和元年度] 清平橋(西側)路面補修、清平橋(西側)路面補修、塩原橋 段差補修 [令和2年度] 東武橋 路面補修、西十間橋 路面補修、中平井橋 路面清掃 [令和3年度] 東武橋 路面補修、旅所橋フェンス補修				
議会質問 の状況	[令和3年3月] 橋の維持補修を適切に行うべきである。				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		1,095	3,842	1,206	1,206	1,206	1,206
A.決算額(令和4年度は見込み)		1,030	3,827	1,188	1,163	1,114	1,206
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,030	3,827	1,188	1,163	1,114	1,206
執行率(%)		94.1%	99.6%	98.5%	96.4%	92.4%	100.0%
B.人コスト			26,643	6,789	7,058	7,916	
総事業決算額(A+B)		1,030	30,470	7,977	8,221	9,030	
予算書P(令和4年度)	P213 5-1	執行実績報告書P(令和3年度)			P156-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
使用料及び賃借料	船舶の借上げ	60	使用料及び賃借料	船舶の借上げ	60	使用料及び賃借料	船舶の借上げ	65
工事請負費	路面補修等	1,103	工事請負費	路面補修等	1,054	工事請負費	路面補修等	1,141

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	橋梁維持補修件数				単位	橋/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	3	3	5	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
	実績	3	2					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	橋梁の機能を維持するために施工する維持補修件数を活動指標とした。 目標値は、緊急性の高い維持補修工事として1件とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「交通の安全性に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		30	R7	目標	26		27	
				実績	26.9		29.6	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	28		29		30	30
実績	32.3							
指標の選定理由及び目標値の理由								
橋梁維持事業で緊急補修し、橋梁の安全性を高めることが、交通の安全性に満足して区民割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	橋梁の安全性確保のため、緊急的な補修工事は必要である。 計画的な修繕工事と連携し、効率よく事業を継続していく。

課題・問題点
橋梁の老朽化により、緊急性の高い維持補修工事が増加傾向にある。 応急的な補修をするとともに、橋梁長寿命化修繕計画に基づいて大規模な工事を計画的に実施する必要がある。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	交通安全施設維持管理費				14
目的	交通安全施設の維持補修、交差点の改良を行い、安全、安心、快適な道路空間を維持する。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者				
根拠法令 関連計画	道路法				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2
事業内容	ガードパイプ、区画線などの交通安全施設の維持補修や交差点の改良を、適切に実施する。				
経過	開始年度	昭和28年度		終了予定	
	過去3年間の主な実績				
		ガードパイプ(三連)	ガードパイプ	生活用防護柵	標識
	[令和元年度]	14件 310.0m	1件 6.6m		10件
	[令和2年度]	6件 177.0m	9件 30.0m		14件
	[令和3年度]	1件 35.5m		1件 32.0m	169件
議会質問 の状況	[令和3年11月] 安全確保のため、ガードレール、カーブミラー等を設置してほしい。				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		188,648	178,541	104,527	112,598	107,260	116,756
A.決算額(令和4年度は見込み)		183,663	178,079	98,643	108,380	104,502	116,756
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		183,663	178,079	98,643	108,380	104,502	116,756
執行率(%)		97.4%	99.7%	94.4%	96.3%	97.4%	100.0%
B.人コスト			26,643	4,526	4,411	5,277	
総事業決算額(A+B)		183,663	204,722	103,169	112,791	109,779	
予算書P(令和4年度)	P215 7-1	執行実績報告書P(令和3年度)			P158-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		52,154	需用費		52,565	需用費		62,228
	(光熱水費)	51,847		(光熱水費)	52,362		(光熱水費)	62,020
	(一般需用費)	307		(一般需用費)	203		(一般需用費)	208
工事請負費	交通安全施設維持補修	54,216	工事請負費	交通安全施設維持補修	48,940	委託料		30
原材料費		1,991	原材料費		2,998	工事請負費	交通安全施設維持補修	51,500
負担金補助及び交付金		21				原材料費		2,998

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	交通安全施設改修件数				単位	件/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		180	R7	目標	180	180	180	180
				実績	209	281	226	211
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	180	180	180	180	180	180
		実績	153	305				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	老朽化や危険な箇所等を良好な状態に保つように維持補修しているため、補修件数を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「交通の安全性に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		30	R7	目標	26		27	
				実績	26.9		29.6	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	28		29		30	30
	実績	32.3						
指標の選定理由及び目標値の理由								
交通安全施設維持管理で、ガードパイプ等を維持補修し、安全・快適に通行できる状態を確保することが、交通の安全性に満足している区民割合を高めることにつながる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	スクールゾーン対策連絡会等と連携し、維持管理を継続していく。

課題・問題点
施設が老朽化し、応急的な補修を行っているが、不健全箇所が年々増加しているため、路面改修工事や企業工事等の他事業と連携し、効率的かつ計画的な補修を行う必要がある。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	公衆便所維持管理費				15
目的	利用者が快適に利用できるように、便所清掃及び施設の維持補修等を行う。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者				
根拠法令 関連計画	墨田区公衆便所に関する条例				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5
事業内容	公衆トイレの清掃、施設の維持補修等を行うことで、常に良好な環境を保持し、安心・清潔なトイレを提供する。				
経過	開始年度				終了予定
	過去3年間の実績 公衆便所(全41か所) [令和元年度] 公衆トイレ平均清掃回数 1.1(回/日) [令和2年度] 公衆トイレ平均清掃回数 1.1(回/日) [令和3年度] 公衆トイレ平均清掃回数 1.1(回/日)				
議会質問 の状況	[令和3年3月] 立花周辺の公衆トイレについて、古くてあまりきれいでなく、外で働く宅配業等の方は利用しづらい。 [令和3年11月] トイレの維持管理を適切に行う必要がある。				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		69,831	71,436	70,907	70,950	54,290	69,972
A.決算額(令和4年度は見込み)		66,683	68,962	65,842	66,750	51,464	69,972
財源	国						
	都	180					
	その他						
一般財源		66,503	68,962	65,842	66,750	51,464	69,972
執行率(%)		95.5%	96.5%	92.9%	94.1%	94.8%	100.0%
B.人コスト			26,643	11,316	12,351	12,314	
総事業決算額(A+B)		66,683	95,605	77,158	79,101	63,778	
予算書P(令和4年度)	P219 2-1	執行実績報告書P(令和3年度)			P162-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		7,585	需用費		7,198	需用費		9,754
	(光熱水費)	7,331		(光熱水費)	6,944		(光熱水費)	9,500
	(一般需用費)	254		(一般需用費)	254		(一般需用費)	254
役務費	清掃	56,005	役務費	清掃	40,918	役務費	清掃	56,964
工事請負費	維持補修	2,906	工事請負費	維持補修	3,097	工事請負費	維持補修	3,000
原材料費		254	原材料費		253	原材料費		254

事業 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	公衆トイレ清掃回数				単位	回/日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1.2	R7	目標	1.1	1.1	1.1	1.1
				実績	1.1	1.1	1.1	1.1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	実績	1.1	1.1					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	1日1回の通常清掃、利用頻度の高いトイレは1日2回清掃としていることから、1日当たりの平均清掃回数を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している」区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		50	R7	目標	46.7		47	
				実績	46.7		42.4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	48		49		50	50
実績	41.5							
指標の選定理由及び目標値の理由								
トイレ施設の管理状況が、公園・遊び場に満足している区民の割合につながる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公衆衛生上必要な施設であり、利用者が快適に利用できる環境に保つため、継続して清掃等を行う。

課題・問題点
快適にトイレを利用してもらうため、トイレの場所や利用頻度に応じ、トイレの清掃回数を検討していく。老朽化しているトイレが多いため、清掃とあわせて応急的な維持補修工事を適宜行っていく必要がある。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	法定外公共物維持管理事業費				16
目的	法定外公共物の適正な維持管理と整備				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者				
根拠法令 関連計画	墨田区特定法定外公共物等管理条例				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤4
事業内容	法定外公共物の境界が確定され、不法占用物件が解消された箇所から順次整備し、舗装等についても適宜補修を行う。				
経過	開始年度	昭和28年度		終了予定	
	平成29年度12月施行の「墨田区特定法定外公共物等管理条例」等による管理				
議会質問 の状況	特になし				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		10,654	10,700	8,195	8,841	7,726	7,919
A.決算額(令和4年度は見込み)		10,443	9,939	6,791	8,488	7,513	7,919
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		10,443	9,939	6,791	8,488	7,513	7,919
執行率(%)		98.0%	92.9%	82.9%	96.0%	97.2%	100.0%
B.人コスト			26,643	13,579	9,704	9,675	
総事業決算額(A+B)		10,443	36,582	20,370	18,192	17,188	
予算書P(令和4年度)	P210 2-2	執行実績報告書P(令和3年度)			P154-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
役務費	排水管清掃	475	役務費	排水管清掃	417	役務費	排水管清掃	500
委託料		0	委託料		0	委託料		59
工事請負費	維持補修	8,014	工事請負費	維持補修	7,096	工事請負費	維持補修	7,360

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	法定外公共物維持補修件数				単 位	件/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		10	R7	目標	10	10	10	10
				実績	4	7	6	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
	実績	4	8					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	法定外公共物の機能を維持するために施工する維持補修件数を活動指標とした。 目標値は、本区の法定外公共物の緊急対応の維持補修件数を近年の実績から10件とした。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	「交通の安全性に満足している」区民の割合				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
30		R7	目標	26		27		
			実績	26.9		29.6		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		28		29		30	30	
実績	32.3							
指標の選定理由及び目標値の理由								
法定外公共物維持管理事業費で補修することで、快適な交通環境が確保され、交通の安全性に満足している区民割合を高めることにつながる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	通路としての重要な役割を持っているため、継続的な維持管理が必要である。

課題・問題点
老朽化した施設が多いため、緊急度に応じた維持管理を継続していく必要がある。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	駐車場維持管理費				17
目的	隅田公園来園者、少年野球場利用者及び東墨田地域の自動車所有者の利便性が確保されている。				主管課・係(担当)
					土木管理課交通安全担当 03-5608-6203
対象者	東墨田駐車場:東墨田地区に住所あるいは事業所を有するか、その事業所に勤務する者 隅田公園自動車駐車場:隅田公園来園者、少年野球場利用者				
根拠法令	墨田区東墨田駐車場運営要綱				
関連計画	墨田区立公園条例 墨田区立公園条例施行規則				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1、委託先:墨田区シルバー人材センター外
事業内容	<p>東墨田駐車場 駐車場利用希望者の申請受付、駐車契約者の各種申請手続受付、使用料の納付管理 [委託業者への主な委託内容] 駐車場内の管理、点検、清掃等</p> <p>隅田公園自動車駐車場 [委託業者への主な委託内容] 駐車場内の管理、点検、清掃 精算機の管理 収納金の管理及び区への納付</p>				
経過	開始年度	平成9年度		終了予定	なし
	<p>東墨田駐車場 平成9年度 平成28年度まで東京都から20年間の無償貸与 平成29年度 令和8年度まで10年間の無償貸与(更新)</p> <p>隅田公園自動車駐車場 隅田公園来園者のための自動車駐車場を平成25年4月1日に開設した。</p>				
議会質問の状況	[平成27年決特] 隅田公園自動車駐車場の有効活用について				
その他特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		9,975	6,227	8,399	9,521	9,209	8,940
A.決算額(令和4年度は見込み)		9,808	6,077	6,692	7,725	8,249	8,940
財源	国						
	都						
	その他	9,808	6,077	6,692	7,725	8,249	8,940
一般財源		0	0	0	0	0	0
執行率(%)		98.3%	97.6%	79.7%	81.1%	89.6%	100.0%
B.人コスト			1,969	1,748	1,764	1,759	
総事業決算額(A+B)		9,808	8,046	8,440	9,489	10,008	
予算書P(令和4年度)	P208 1-11	執行実績報告書P(令和3年度)			p152-11		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	光熱水費、消耗品等	892	需用費	光熱水費、消耗品等	266	需用費	光熱水費、消耗品等	299
役務費	郵送料等	100	役務費	郵送料等	101	役務費	郵送料等	138
委託料	隅田公園自動車駐車場管理委託外	6,157	委託料	隅田公園自動車駐車場管理委託外	7,200	委託料	隅田公園自動車駐車場管理委託外	7,403
工事請負費	照明改修・部品交換	577	工事請負費	区画線補修工事	402	使用料及び賃借料	防犯カメラ借上	192
						工事請負費	ゲート修繕工事	908

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	駐車場の設置台数				単位	台
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		140	R7	目標	140	140	140	140
				実績	140	140	140	140
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	140	140	140	140	140	140
		実績	140	140				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	駐車場(東墨田115台、隅田公園25台、計140台) 設置台数は現状で充足されている。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	自動車駐車場の利用台数				単位	台/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		13,840	R7	目標	13,840	13,840	13,840	13,840
				実績	13,381	13,720	14,471	16,451
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	13,840	13,840	13,840	13,840	13,840	13,840
	実績	11,958	13,543					
指標の選定理由及び目標値の理由								
利用台数で利用の増減が把握できる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	東墨田駐車場は東墨田地区の在住在勤者に必要な施設であり、隅田公園自動車駐車場は公園利用者や少年野球場の利用者にとって必要な施設であることから、今後も継続する。

課題・問題点
<p>【東墨田駐車場】 20年以上経過し、老朽化による影響から、近年駐車場内の路面の陥没やネットフェンスの破損(R3年度に一部補修)などが発生しており、安全で快適な利用環境を維持するため、優先度を設けて計画的に改修する必要がある。</p> <p>【隅田公園自動車駐車場】 砂利舗装の路面劣化を改修する必要がある。経費削減のため、無人管理の検討が必要である。</p>

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する				部内優先順位
事業名	道路台帳整備費					18
目的	道路及びその沿道には、様々な公益上の規制が働く。これらは関係者の権利・利益と密接に関係するため、法律関係が及び範囲や道路区域・構造等を明確にする。					主管課・係(担当)
						土木管理課土木管理担当
						03-5608-6280
対象者	区内で土地の管理や財産管理、建築等を行う人					
根拠法令 関連計画	道路法、墨田区有通路条例、墨田区特定法定外公共物等管理条例					
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1・会計年度任用職員1・委託先:第一航業(株)	
事業内容	道路法に基づき、道路台帳の管理及び調整のため、平面図や調書を補正し、閲覧・複写等交付サービスを行う。あわせて、墨田区条例で管理している道路等の台帳管理を行う。					
経過	開始年度	昭和39年度			終了予定	なし
	昭和39年度に第一次道路台帳整備事業で開始し、現在ではパソコンによる各台帳関係資料の閲覧、複写、証明の交付事務を行っている。 平成25年度から路線名、幅員のウェブ閲覧サービスを開始した。					
議会質問 の状況	特になし					
その他 特記事項	特になし					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		9,139	11,918	11,949	12,457	11,472	11,700
A.決算額(令和4年度は見込み)		8,338	11,827	11,781	12,360	11,440	11,700
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		8,338	11,827	11,781	12,360	11,440	11,700
執行率(%)		91.2%	99.2%	98.6%	99.2%	99.7%	100.0%
B.人コスト			14,765	13,107	13,233	8,796	
総事業決算額(A+B)		8,338	26,592	24,888	25,593	20,236	
予算書P(令和4年度)	P209 1-1	執行実績報告書P(令和3年度)			p153-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品	502	需用費	消耗品	461	需用費	消耗品	450
委託料	道路台帳補正委託	10,409	委託料	道路台帳補正委託	9,531	委託料	道路台帳補正委託	9,801
使用料及び賃借料	サーバー借上	1,449	使用料及び賃借料	サーバー借上	1,449	使用料及び賃借料	サーバー借上	1,449

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	台帳補正箇所数(調書の面積、幅員等を補正した区間数)				単位	箇所/年
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		350	R7	目標	350	350	350	350
				実績	366	397	344	315
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	350	350	350	350	350	350
	実績	365	290					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	道路の認定・廃止・区域変更等により形状や数値が変化した箇所(細街路事業、地籍調査事業を含む)を遅滞なく正確に補正する必要がある。(例年、300～400箇所である。)							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	道路台帳現況図等の閲覧・複写交付・証明交付等窓口交付件数				単位	件/年
最終目標値		目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1		
10,000		R7	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	
			実績	10,676	10,762	12,571	12,324	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
実績	10,966	11,837						
指標の選定理由及び目標値の理由								
ウェブ閲覧サービスを拡充することにより、窓口件数を減少させることができる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	閲覧、複写、証明の交付申請者等の事業者ニーズがあり、今後も継続していく。 統合型GISで閲覧可能になったことで、建築基準法の道路種別等のデータと比較することができるので、利用者へのサービス向上につながっている。

課題・問題点
ウェブ閲覧サービスの操作方法の簡素化、境界確定図等の閲覧などの要望がある。 現在、ウェブ閲覧サービス及び統合型GISで道路現況等が確認できるが、ウェブ閲覧サービスは内部の管理用システムとして、統合型GISは外部に発信していくシステムとして活用し、その役割分担を明確にしつつ、利用者にとって使いやすい環境を整備していく必要がある。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	公共用地境界確定事業費				19
目的	道路・公園等の公共施設の土地境界が明確になっている。				主管課・係(担当)
					土木管理課用地調査担当
					03-5608-6284
対象者	都市整備部が所管する区有地				
根拠法令 関連計画	墨田区公有財産管理規則				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤4、委託先:公共嘱託登記士地家屋調査士協会
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国から譲与された土地で、表示登記されていない土地(無番地の土地)に係る境界(所有権界)を確定する。 ・都市整備部所管の区有地(道路、公園等)で有地番の土地に係る境界(筆界)を確認する。 ・公共物管理者として、墨田区が管理している道路の区域を確認する。 ・境界標示物(杭、鋸等)を保全する。 				
経過	開始年度	平成14年度		終了予定	なし
	昭和22年から、都の土地境界確定に区道管理者として立会をしてきたが、平成14年度からは、土地所有者として境界確定事業を行っている。				
議会質問の状況	特になし				
その他特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		1,258	1,266	1,263	1,261	1,261	1,261
A.決算額(令和4年度は見込み)		1,249	1,209	1,199	1,188	1,068	1,261
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,249	1,209	1,199	1,188	1,068	1,261
執行率(%)		99.3%	95.5%	94.9%	94.2%	84.7%	100.0%
B.人コスト			37,405	32,330	29,112	33,424	
総事業決算額(A+B)		1,249	38,614	33,529	30,300	34,492	
予算書P(令和4年度)	P209 1-2	執行実績報告書P(令和3年度)			p153-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品購入	191	需用費	消耗品購入	196	需用費	消耗品購入	200
委託料	測量委託外	539	委託料	測量委託外	529	委託料	測量委託外	539
工事請負費	石標設置工事	458	工事請負費	石標設置工事	343	工事請負費	石標設置工事	522

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	受理件数				単位	件/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		90	R7	目標	90	90	90	90
				実績	126	125	142	127
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90	90	90	90	90	90
		実績	100	124				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	境界確定・確認は、申請主義である(目標値については、例年の実績から算出)。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	確定・確認延長				単位	m/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		2,000	R7	目標	2,000	2,000	2,000	2,000
				実績	2,097	1,890	2,467	2,372
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績	2,407	1,339					
指標の選定理由及び目標値の理由								
道路・公園等の境界を確定・確認することで管理区域が明確となる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	道路、公園等の公共施設の土地境界で未確定の場所があることから、今後も継続して事業を実施していく必要がある。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員には、関係法令や測量に関する知識が求められるので、これらの知識を高める職員育成を行っていく。 ・境界確定や道路区域確認の調査、測量費用は、原則申請者負担となる。 ・境界確定が完了していても、復元情報が乏しいと復元が困難になることがある。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	法定外公共物・法定公共物移管事業費				20
目的	国から譲与された無地番の土地や今後、譲与される無地番の土地について測量、登記(表示・保存登記)が整い、適切な財産管理がされている。				主管課・係(担当)
					土木管理課用地調査担当 03-5608-6284
対象者	国から譲与された法定・法定外公共物				
根拠法令 関連計画	国有財産法、道路法、墨田区公有財産管理規則、墨田区特定法定外公共物等管理条例				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤4、委託先:公共嘱託登記士地家屋調査士協会
事業内容	国の施策(法定・法定外公共物に係わる国有財産を市町村の調査・判断・申請に基づき譲与する趣旨)に基づいて譲与を受けた、法定・法定外公共物の表示登記及び所有権保存登記を行い、適正な財産管理を行う。				
経過	開始年度	平成12年度		終了予定	なし
	[平成12年度] 事業開始、北部地区委託調査 [平成13年度] 南部地区委託調査、北部地区譲与申請 [平成14年度] 北部地区譲受、南部地区譲与申請 [平成15年度] 南部地区譲受				
議会質問 の状況	[平成31年予特] 行政財産である法定外公共物の不法占拠する者に対する貸付け				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		807	807	807	806	806	806
A.決算額(令和4年度は見込み)		806	806	807	806	803	806
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		806	806	807	806	803	806
執行率(%)		99.9%	99.9%	100.0%	100.0%	99.6%	100.0%
B.人コスト			24,609	29,709	25,584	29,905	
総事業決算額(A+B)		806	25,415	30,516	26,390	30,708	
予算書P(令和4年度)	P209 1-6	執行実績報告書P(令和3年度)			p153-5		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品購入	6	需用費	消耗品購入	5	需用費	消耗品購入	6
委託料	調査測量委託	800	委託料	調査測量委託	798	委託料	調査測量委託	800

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	境界確定 + 地籍調査延長				単位	m / 年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		5,000	R7	目標	3,000	3,000	3,000	3,000
				実績	3,546	3,528	3,790	4,703
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	実績	3,856	2,914					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	無地番地の登記を行うには、登記する土地の周囲の境界を確認しておく必要がある。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	登記筆数				単位	筆 / 年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		5	R7	目標	5	5	5	5
				実績	7	7	17	6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	5	5	5	5	5
実績	20	15						
指標の選定理由及び目標値の理由								
所有権保存登記をすることで、第三者への対抗要件が備わる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	境界確定や地籍調査が完了した箇所で、登記が可能な法定・法定外公共物について、速やかに登記を行っていく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> ・官民境界について、境界確定又は地籍調査における筆界確認が行われないと表示登記及び所有権保存登記ができない。 ・法定外公共物の払下げは隣接土地所有者等の申出により行うことから、現況が廃滅し、払下げが可能なものであっても長期に渡って用地管理をしなくてはならない。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	交通安全普及啓発費				21
目的	交通事故がなくなり、交通マナーが守られている。				主管課・係(担当)
					土木管理課交通安全担当
					03-5608-6203
対象者	墨田区民				
根拠法令 関連計画	交通安全対策基本法 第10次墨田区交通安全計画				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3
事業内容	<p>春秋の交通安全運動期間前に交通安全対策協議会を開催する。 区内小学校5年生及び6年生を対象に交通安全物資を学校に供与 自転車安全運転免許証の交付事業(対象:小学4年生) すみだまつり・こどもまつりで自転車の交通ルール等の普及啓発活動 スタントマンによるスケアード・ストレイト方式の交通安全教室の開催</p>				
経過	開始年度	昭和36年度		終了予定	なし
	<p>令和2年 交通安全対策協議会(春秋とも書面開催) 反射材付リストバンド(対象小学校4年) 自転車安全運転免許証交付(対象小学校4年) TOKYO交通安全キャンペーン 隅田公園 スケアード・ストレイト方式による交通安全教室 都立橋高等学校 令和3年度 交通安全対策協議会(春秋とも書面開催) 反射材付リストバンド(対象小学校4年) 自転車安全運転免許証交付(対象小学校4年) スケアード・ストレイト方式による交通安全教室 都立墨田川高校で実施 啓発活動 オリナス前、堤通交通公園2回、隅田公園、錦糸公園</p>				
議会質問 の状況	<p>[平成31年1定] 交通安全対策の充実について [令和4年3月] 大型電動自転車のマナー啓発について</p>				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		1,090	1,078	1,108	1,085	1,113	962
A.決算額(令和4年度は見込み)		931	789	1,004	949	635	962
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		931	789	1,004	949	635	962
執行率(%)		85.4%	73.2%	90.6%	87.5%	57.1%	100.0%
B.人コスト			2,953	2,621	5,293	3,518	
総事業決算額(A+B)		931	3,742	3,625	6,242	4,153	
予算書P(令和4年度)	P213 6-1	執行実績報告書P(令和3年度)			p157-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品等	575	需用費	消耗品等	161	需用費	消耗品等	588
役務費	郵送料	47	役務費	郵送料	47	役務費	郵送料	48
委託料	スケアードストレイト	275	委託料	スケアードストレイト	275	委託料	スケアードストレイト	275

事業 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	啓発運動実施回数				単位	回/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		6	R7	目標	6	6	6	6
				実績	7	6	7	7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	6	6	6	6	6	6
	実績	9	6					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	実施するたびに交通安全意識が再確認されることで、交通事故防止やマナー向上につながる。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	区内交通事故発生件数				単位	件/年
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
200		R7	目標	600	550	550	500	
			実績	554	536	424	442	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		450	400	350	300	250	200	
実績	402	456						
指標の選定理由及び目標値の理由								
交通安全の啓発を行うことで意識が高まり、行動を変えるように促すことで、交通事故件数の減少につながっていく。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	本事業では、年齢層に応じた交通安全の普及啓発活動や、交通安全運動を通じて、交通安全協会や町会等と連携し、交通事故防止活動を行っている。 令和3年度は、交通事故件数が増加したため、より一層事故発生件数を減少させるため、本啓発活動の回数を増やし継続していく必要がある。

課題・問題点
交通安全運動等を通じて、警視庁、所轄警察署、交通安全協会は各年齢層に応じた交通安全の普及啓発活動や、その年の交通事故の特徴に応じた事故防止活動を行う等、効果的な活動をしている。一方、区ではこのような効果的な活動が実施できていないため、より充実した普及啓発を図っていく必要がある。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位	
事業名	スクールゾーン育成事業費				22	
目的	スクールゾーン育成事業でスクールゾーン内の交通事故が防げている。				主管課・係(担当)	
					土木管理課交通安全担当	
					03-5608-6203	
対象者	スクールゾーン対策連絡会(25団体)					
根拠法令 関連計画	墨田区スクールゾーンモデル地区等設置要綱 墨田区スクールゾーンモデル地区対策連絡会及び自主推進地区対策連絡会補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3	
事業内容	各小学校からの申請に基づきスクールゾーン地区として指定し、自主推進地区に年間30,000円の補助金を交付する。 また、毎年1回(9月頃)スクールゾーン対策連絡会・登下校防犯対策連絡会全体意見交換会を実施し、指定校からの要望に基づいて、スクールゾーン内の道路や標識の補修・整備を行っている。					
経過	開始年度	昭和56年度			終了予定	なし
	補助金交付団体数 [令和元年度] 自主推進地区対策連絡会 20団体 [令和2年度] 自主推進地区対策連絡会 20団体 [令和3年度] 自主推進地区対策連絡会 18団体					
議会質問の状況	[平成29年決特] スクールゾーンの危険箇所への対応について					
その他特記事項	スクールゾーン対策連絡会・登下校防犯対策連絡会全体意見交換会実施予定					

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		600	630	660	660	660	660
A.決算額(令和4年度は見込み)		584	628	570	488	488	660
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		584	628	570	488	488	660
執行率(%)		97.3%	99.7%	86.4%	73.9%	73.9%	100.0%
B.人コスト			2,953	2,621	5,293	3,518	
総事業決算額(A+B)		584	3,581	3,191	5,781	4,006	
予算書P(令和4年度)	P213 6-2	執行実績報告書P(令和3年度)			p157-2		

補助金名称	墨田区スクールゾーンモデル地区対策連絡会及び自主推進地区対策連絡会補助金			主管課・係（担当）		
根拠法令	墨田区スクールゾーンモデル地区等設置要綱 墨田区スクールゾーンモデル地区対策連絡会及び自主推進地区対策連絡会補助金交付要綱			土木管理課交通安全担当		
補助概要	各小学校からの申請に基づきスクールゾーン地区として指定し、自主推進地区には年間30,000円の補助金を交付する。			03-5608-6203		
目的	スクールゾーン育成事業でスクールゾーン内の交通事故が防げている。					
対象	スクールゾーン対策連絡会（25団体）					
基準	区独自基準					
補助条件	以下の活動等に係る経費を対象に補助金を交付する。余剰が生じたときは、区に返還すること。 交通事故防止活動に係る経費 活動物資購入に係る経費 会議運営に係る経費					
経過	開始年度	昭和56年度		終了予定	なし	
	補助金交付団体数 令和元年度 自主推進地区対策連絡会 20団体 令和2年度 自主推進地区対策連絡会 20団体 令和3年度 自主推進地区対策連絡会 18団体					
議会質問の状況	[平成29年決特] スクールゾーンの危険箇所への対応について					
その他特記事項	スクールゾーン対策連絡会・登下校防犯対策連絡会全体意見交換会実施予定					

予算・決算額推移（千円）		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算額（事業費）		600	630	660	660	660	660
決算額（令和4年度は見込み）		584	628	570	488	488	660
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		584	628	570	488	488	660
執行率（％）		97.3%	99.7%	86.4%	73.9%	73.9%	100.0%

補助金の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助金交付団体数				単 位	団体 / 年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		25	R7	目標	15	15	17	17
				実績	15	20	21	20
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	19	19	21	21	23	25
		実績	20	18				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	スクールゾーン地区対策連絡会に加盟している小学校のうち交付を受けて活動を行っている団体を指標とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	区内小学生の交通事故死傷者数				単 位	人 / 年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		8	R7	目標	22	19	19	17
				実績	23	19	16	12
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		10	10	10	8	8	8	
実績		14	7					
指標の選定理由及び目標値の理由								
交通事故防止に関する活動を支援することで交通安全意識の向上が図られ、交通事故死傷者数の減少につながる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	<p>スクールゾーン育成事業の補助金の活用によって自主推進地区ごとに交通安全意識の向上が図られ、小学生の交通事故死傷者数が年々減少傾向にある。</p> <p>今後もスクールゾーン意見交換会等を通じて道路や標識の補修・整備の要望に応えていく必要がある。</p>

課題・問題点
<p>地元要望のうち、信号機や横断歩道の設置等、交通管理者が管理するものは実現までに期間を要するものがある。</p>

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	交通安全協会補助金				23
目的	交通安全協会による交通安全に係わる啓発活動が適切に実施されることで区内の交通事故件数を減少させる。				主管課・係(担当)
					土木管理課交通安全担当
					03-5608-6203
対象者	本所交通安全協会及び向島交通安全協会				
根拠法令 関連計画	墨田区交通安全協会補助金交付要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2
事業内容	交通安全協会の以下の活動に係る経費について補助金を交付する。 交通安全活動を推進するために必要な経費 交通安全活動の物資購入に関する経費				
経過	開始年度	平成25年度		終了予定	なし
	平成25年4月1日要綱制定以降、毎年度、各交通安全協会に3,525千円交付				
議会質問 の状況	[平成31年予特] 高齢者のヘルメット購入のため、交通安全協会の補助金を活用すべき				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		7,050	7,050	7,050	7,050	7,050	7,050
A.決算額(令和4年度は見込み)		7,050	7,050	7,050	7,050	7,050	7,050
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		7,050	7,050	7,050	7,050	7,050	7,050
執行率(%)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト			2,953	2,621	3,529	1,759	
総事業決算額(A+B)		7,050	10,003	9,671	10,579	8,809	
予算書P(令和4年度)	P213 6-3	執行実績報告書P(令和3年度)			p157-3		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和2年度（決算）			令和3年度（決算）			令和4年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
負担金補助及び交付金	交通安全協会補助金	7,050	負担金補助及び交付金	交通安全協会補助金	7,050	負担金補助及び交付金	交通安全協会補助金	7,050

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	警察と共同開催する交通安全啓発イベント回数				単 位	回/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		12	R7	目標	8	8	9	9
				実績	1	7	8	9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	11	11	12	12
	実績	10	6					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	警察、交通安全協会等と連携して交通安全普及啓発活動を実施することで、区民の交通安全に対する意識の高揚につながっていく。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	区内の交通事故発生件数				単 位	件/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		200	R7	目標	600	550	550	500
				実績	554	536	424	442
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	450	400	350	300	250	200
実績	402	456						
指標の選定理由及び目標値の理由								
交通安全の啓発を行うことで意識が高まり、行動を変えるように促すことで、交通事故件数の減少につながっていく。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和3年度の交通事故件数は前年度から増加に転じているものの、各協会において交通事故防止のため、適切な啓発活動が実施されることにより交通事故の減少に貢献している。 今後も、交通事故減少のため、本事業を継続する。

課題・問題点
近年、高齢自動車運転者が関与する事故や自転車利用者の増加に伴う事故防止が課題となっている。

補助金の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	警察と共同開催する交通安全啓発イベント回数				単 位	回 / 年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		12	R7	目標	8	8	9	9
				実績	1	8	7	9
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	11	11	12	12
		実績	10	6				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	警察、交通安全協会等と連携して交通安全普及啓発活動を実施することで、区民の交通安全に対する意識の高揚につながっていく。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	区内の交通事故発生件数				単 位	件 / 年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		200	R7	目標	600	550	550	500
				実績	554	536	424	442
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		450	400	350	300	250	200	
実績		402	456					
指標の選定理由及び目標値の理由								
交通安全の啓発を行うことで意識が高まり、行動を変えるように促すことで、交通事故件数の減少につながっていく。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和3年度の交通事故件数は前年度から増加に転じているものの、各協会において交通事故防止のため、適切な啓発活動が実施されることにより交通事故の減少に貢献している。 今後も、交通事故減少のため、本事業を継続する。

課題・問題点
近年、高齢自動車運転者が関与する事故や自転車利用者の増加に伴う事故防止が課題となっている。

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	自転車駐車場利用環境整備費				24
目的	自転車駐車場の利用者が安全で快適に利用できる環境が整っている。				主管課・係(担当)
					土木管理課交通安全担当
					03-5608-6203
対象者	自転車利用者				
根拠法令 関連計画	墨田区自転車の利用秩序及び自転車駐車場の整備に関する条例 墨田区自転車利用総合方針				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤3・会計年度任用制度職員2、委託先：墨田区シルバー人材センター
事業内容	<p>整理員の配置 平日の混雑が顕著な駅に整理員を配置 自転車駐車場管理システムの導入 自転車駐車場の利用者情報及び空き状況等のデータベース化を行い、手続き期間の短縮や納付確認等の事務のスピードアップ化を図る。 自転車駐車場施設修繕工事 経年により、老朽化した自転車駐車場等を修繕</p>				
経過	開始年度	平成29年度			終了予定
	<p>[平成30年度] 自転車駐車場管理システムのクライアントPCを錦糸町駅南口地下自転車駐車場に導入 押上駅前導入済みシステムのクライアントPCを庁舎に導入 経年により老朽化した自転車駐車場の修繕 [令和元年度] 錦糸町駅各地下自転車駐車場にゲートシステム導入 第2種特定自転車駐車場利用者の交通系ICカードによる支払に対応 経年により老朽化した自転車駐車場の修繕 [令和2年度] 錦糸町駅北口地下自転車駐車場の防災監視盤の入替(リース) 押上駅前自転車駐車場の2段式上段ラックの入替(リース) [令和3年度] 錦糸町駅北口地下自転車駐車場の照明をLED化 自転車駐車場利用申請受付事務を委託化 WEB申請及びWEB決済導入</p>				
議会質問の状況	<p>[平成30年決特] 放置自転車の状況について ほか [令和元年10月] 押上駅前自転車駐車場のラックの故障について [令和4年3月] web申請、キャッシュレス決済利用状況について</p>				
その他特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額(事業費)		31,490	16,491	23,227	32,698	27,330	0
A.決算額(令和4年度は見込み)		22,966	16,167	20,570	30,572	26,395	0
財源	国						
	都						
	その他		16,167	20,570	30,572	11,330	0
一般財源		22,966	0	0	0	15,065	0
執行率(%)		72.9%	98.0%	88.6%	93.5%	96.6%	#DIV/0!
B.人コスト			3,937	3,495	6,175	6,157	
総事業決算額(A+B)		22,966	20,104	24,065	36,747	32,552	
予算書P(令和4年度)	-		執行実績報告書P(令和3年度)			p157-8	

予算・決算の内訳(単位:千円)								
令和2年度(決算)			令和3年度(決算)			令和4年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
役務費	交通系ICカード手数料等	1,352	役務費	キャッシュレス決済手数料等	349			
委託料	第1種自転車整理業務等	11,690	委託料	自転車駐車場利用申請受付業務委託等	22,329			
使用料及び賃借料	ゲートシステム借上等	10,673	使用料及び賃借料	錦糸町北口LED借上等	1,213			
工事請負費	維持補修工事	6,857	工事請負費	維持補修工事	2,506			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	修繕した自転車駐車場の数(累計)				単位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		30	R7	目標	-	9	18	27
				実績	-	9	14	23
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	30	30	30	30	30	30
	実績	26	27					
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	施設修繕によって安全で快適に利用できる環境が維持できる。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	自転車駐車場施設に関する広聴カードによる要望・苦情の数				単位	件/年
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3	R7	目標	-	5	5	5
				実績	-	9	8	7
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	4	4	4	4	3
実績	2	1						
指標の選定理由及び目標値の理由								
自転車駐車場に対しての要望・苦情の数が減少することで利用環境の向上が図れる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
統合や縮小を検討	利用環境整備費は、使用料改定に伴い、利用者の駐車場利用環境向上を実施してきたが、5年が経過したことから令和4年度に自転車駐車場等維持管理費に統合した。

課題・問題点
令和4年度申請分から、特定自転車駐車場利用希望者の利便性向上のため、利用申請受付事務の一括委託化を行い、併せてWEB申請及びWEB決済を導入したが、紙申請しかできない利用者への対応が課題である。